

鴨川市教育委員会 7月定例会会議録

- 1 日 時 平成19年7月19日(木) 開会 午前 9時30分
閉会 午後11時55分
- 2 場 所 鴨川市天津小湊支所委員会室
- 3 出席委員 (1) 佐久間秀子 (2) 村上 修平 (3) 柏倉 弘昌
(4) 根本 礼子 (5) 長谷川孝夫
- 4 出席職員 (1) 川名 実 (2) 滝口 悦夫 (3) 野村利雄
(4) 川名 一史 (5) 長谷川 勉

5 委員報告

- ・南房総教育事務所の所長訪問(江見小・太海小・曾呂小・小湊小・長狭中・安房東中)と指導室計画訪問(田原小・主基小)について、以下の報告がなされた。
(根本委員)各学校が目標を具現化するため、子どもを第一とし、一生懸命取り組んでいる姿に接し、好感が持てた。「ピア・サポート」の授業は、助け合い、支えあう気持ちや思いやりの心をはぐぐむために効果がある。
(村上委員)校長の経営説明や方針の具体化に関わる教頭、教務主任等の説明がわかりやすく行われたが、年度当初に保護者等に説明することも必要である。
(佐久間委員)子どもたちが日常の生活の中で想起できる、「ピア・サポート」の人間関係づくりは、道徳の指導内容との関連も図ることができる。子どもたちの多様な考え方を生かして、数学等の授業が展開されていた。

6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、はじめに、村上委員の発言に関わり、学校が説明責任を果たしていくことは極めて大切であり、4月当初のPTA総会等で、学校教育目標をはじめ、数値目標を示すなど分かりやすい説明に心がけるとともに、外部評価を実施していく必要がある旨の説明があった。つづいて、資料に基づき、南房総教育事務所の所長訪問・指導室計画訪問、目標申告校長面談、高校入学者選抜方法等、イースタン・リーグ公式戦(ロッテ対ジャイアンツ)、市内区長等懇談会等について報告がなされた。
- ・また、川名生涯学習課長から、市内小学生通学合宿について、滝口学校教育課長から、県教育委員会企画財務課訪問等についての報告がなされた。

[報告に対する質疑]

- ・柏倉委員から、全国一斉の学力状況調査が実施されたが、その結果はどうであったのか、教育関係者(学校や教育委員会)は、県や全国のレベルと比較して学力の定着状況を把握すべきではないのか、との発言がなされた。長谷川教育長から、学力調査の結果は8月末に各市町村へ通知され、その扱いは各市町村の判断に任されているが、具体的に本市は、原則として公開の立場で考えており、安房管内の他

市町と同一歩調で対応していく旨の説明がなされた。また、学力状況調査から本市の子どもたちの学力の定着状況を的確に把握し、指導の改善や施策に反映していくことが重要であるとの回答がなされた。

- つづいて、柏倉委員から、市内区長等懇談会で教育長が説明した、学校統合についてどんな反応があったのかとの質問があり、長谷川教育長から特に反対の意見はなかったが、小中一貫教育に関わり同一敷地内の学校とそうでない学校とでは、学力に差がつくのではないかと懸念に対し、すべての学校でしっかりと学力を保障していく旨の回答をしたと説明があった。
- さらに、柏倉委員から、通学合宿はよいことだと考えるが、希望者が参加したのか、企画したのはどこか、などの質問があり、川名生涯学習課長から当課で企画し、主基・吉尾・大山小学校5・6年生を対象に希望者を募り実施したが、今後は、すべての学校を対象に、この事業が展開できるよう検討を進めたい旨の説明がなされた。
- 村上委員から、昨年度実施した中学生の通学合宿はどうするのか、夏に実施できるとよいのではないかと、などの質問があり、川名生涯学習課長から鴨川青年の家等を使用し、継続していく考えであり、学校行事等を勘案しながら、今年度も秋以降に実施したい旨の説明があった。
- 根本委員から、通学合宿に参加した子どもたちの感想等を知りたいかどうか、との質問があり、川名生涯学習課長から、感想等を求めているので集まりしだい、まとめておきたいとの回答があった。

他に質疑なく、全員の了解が得られた。

7 議 事

(1) 議案第1号 「平成20年度使用教科用図書の選定について」

- 佐久間教育委員から、議案第1号について資料を基に説明がなされた。
- 柏倉委員から、子どもの実態に即した教科書で指導すべきと思うがどうか、との質問があり川名教育次長から、学校では特別な支援の必要な子どもたちの実態に応じて、学校教育法107条の規定による一般図書の他、文部科学大臣の検定を経た教科書などを使用できること等の説明がなされた。

議案第1号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

(2) 議案第2号 「鴨川市統合中学校建設検討委員会設置要綱の制定について」

- ・滝口学校教育課長から、議案第2号について資料を基に説明がなされた。
- ・柏倉委員から、統合中学校を建設する場所については、将来、長狭中学校を一緒にする考えがあるのか、との質問があり長谷川教育長から教育委員会としては、現在、学校適正規模検討委員会からの答申を踏まえ、江見中学校と鴨川中学校の統合を考えて進めているところであり、長狭中学校を一緒にする考えはない旨の説明がなされた。長狭中学区については、小学校を統合し、特色ある教育として小中一貫校を設置したい旨の説明がなされた。
- ・また、柏倉委員から、鴨川市学校適正規模検討委員会の答申は公開されているのか、学校統合等はこの答申を踏まえて進められているのか、などとの質問があり、長谷川教育長からこのことについてはすでに教育委員会会議で報告済みであるが、答申については公表されており、答申を踏まえ、江見中学校と鴨川中学校の統合について進めていることと、統合中学校を建設する方針についても議会に報告済である旨の説明がなされた。
- ・なお、長谷川教育長から、江見・鴨川中統合建設検討委員会の名称については、「江見・鴨川統合中学校建設検討委員会」としたい旨の説明があり、他の委員からも同意を得た。

議案第2号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

(3) 議案第3号 「江見・鴨川統合中学校建設検討委員会委員の委嘱について」

- ・滝口学校教育課長から、議案第3号について資料を基に説明がなされた。
- ・柏倉委員から、委嘱する委員の中に建築の専門家がいなくてどうなのか、との質問があり、長谷川教育長から建築に関係している人については、誤解を受けることが予想されることから、委嘱しないことにした旨の説明がなされた。
- ・佐久間委員から、この建設検討委員会でどんな内容を検討してもらおうのか、との質問があり、長谷川教育長から、基本的には本日提示した、教育委員会作成の「統合中学校建設コンセプト」を検討していただく旨の説明がなされた。
- ・柏倉委員から、統合中学校建設は大筋どのように進めていくのか、入札等をこれから行うのか、などとの質問があり、滝口学校教育課長から、既に教育委員会会議の中で報告し、了解していただいていることであるが、PFI事業を導入して建設を進めた場合の説明がなされた。
- ・川名教育次長から、教育委員会作成の「統合中学校建設コンセプト」の説明がなされた。

議案第3号については、その他に質疑なく全会一致で可決された。

8 その他

(1) 各課長から、「8月の教育委員会行事予定」について説明がなされた。

- ・滝口学校教育課長から、第1回江見・鴨川統合中学校建設検討委員会（1日）、定例教育委員会会議（17日：午前9時30分）、北海道上川郡東神楽町教育委員会の訪問（21日）、鴨川市少年少女合唱団オーストリア親善公演（22日～28日）等について説明がなされた。
- ・川名生涯学習課長から、子ども歴史教室（4日）、青少年海外派遣団帰国（9日）と帰国報告（10日：午前9時30分）、自然まるかじり体験塾（19日～21日）、中学生職場体験学習（20日～28日）等について説明がなされた。
- ・スポーツ振興課長から、第2回鯛リンピック実行委員会（2日：9月24日実施）、小学生陸上教室（4, 5, 18, 19日）、第3回鴨川市民ゴルフ大会（5日）、市営プール開設（7月20日～8月25日）等について説明がなされた。

(2) その他、各委員等から、報告・要望等がなされた。

- ・（柏倉委員）天津小学校等で10日に開催された、千葉県南総文化ホールのワークショップ公演である、「ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉」のメンバーによるコンサートはよい企画であった。
- ・（根本委員）学校で行われる行事等についても知りたいので、教育委員会の行事予定に記載してほしい。
- ・（佐久間委員）図書館で行われる「読み聞かせ」（第3土曜日14：00～）に、教育委員の皆さんの参加をお願いしたい。
- ・（野村学校給食センター所長）1学期の給食が7月19日に終了した。2学期は9月4日から開始する。

佐久間委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成19年8月17日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 川 名 実

